

令和2年度事業計画

【基本計画】

令和2年度の政府経済見通しでは、雇用・所得環境の改善が続き、労働・雇用の分野においては、雇用環境の改善が続く中で、女性や高齢者等を中心とした労働参加の拡大もあり、雇用者数は増加するとしています。

また、政府が掲げる「成長戦略実行計画」に示されている人生100年時代を迎え、生涯現役社会を実現するため、70歳までの就業機会確保について、定年を70歳まで延長させる等の「高齢者雇用安定法」の改正が閣議決定されました。

その背景には、近年の高齢者の体力等は若返っており就労意欲も高く、高齢者の就業率は現在より大幅に高い水準になると分析しています。

こうした現状から、各種の意識調査においても従来の65歳以上を高齢者とすることに否定的な意見が強くなっており、「高齢社会対策大綱」においても、65歳以上を一律に高齢者と見る一般的な傾向は、現状に照らせばもはや現実的なものではなくなりつつあるとしています。

このような社会情勢や高齢者の就業環境等の変化から、当センターにおいても会員数の伸び悩みに加えて新入会員の平均年齢も年々上昇傾向にありますが、働く意欲と能力のある高齢者が、長年培ってきた知識や経験を活かし活躍できる場として、会員の更なる増強に取り組んでまいります。

就業においては、就業開拓員を中心に新たな就業先の開拓を積極的に推進するとともに、会員一人就業促進運動（一人ひとりがセールスマン）を展開し、植木の剪定、除草の受注をはじめ、就業先の開拓など具体的にセールス活動を実践し、就業機会の拡大や就業率の向上に努めてまいります。

また、「安全は全てに優先する」を基本原則に安全就業対策を最優先課題として、会員一人ひとりの安全意識を一層高め、無事故達成に向け、組織が一丸となって安全就業に取り組んでまいります。

次に、理事長が掲げる今年度のスローガンは、知っているだけでは意味をなさず、何かしら行動をしてはじめて知識として意味をなす。「知識」と「行為」は一体であるという意味の「知行合一」とし、会員の豊富な知識を活かし行動することで地域社会に貢献するセンターを目指してまいります。

シルバー人材センターを取り巻く環境は依然厳しい状況にありますが、将来を見据えた事業展開を図るため、当センターの「第2次中期計画」を策定します。

当センターは、地域に密着し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って活躍できる環境づくりに引き続き取り組み、所沢市をはじめ関係機関のご支援ご協力を頂き、「自主・自立、共同・共助」の基本理念のもと、会員、役職員が一体となり連携を強化し、令和2年度の事業を展開してまいります。

【実施計画】

1. 本年度の目標契約高 6億8千5百万円

2. 本年度の目標就業率 75%

3. 会員活動の充実

☆安全・適正就業の推進

「安全はすべてに優先する」を原則に、会員の就業中の事故や就業途上の交通事故等の防止に向けた対策の強化を図り、会員一人ひとりの安全意識を一層高め、事故の撲滅に努めます。

また、近年の夏の期間に多発する猛暑日の就業について、熱中症対策の更なる周知徹底に努めます。

適正就業では、多くの会員に就業機会を提供できるよう、適正な事業運営に取り組みます。

☆会員の増強

全国シルバー人材センター事業協会の「第2次100万人計画目標会員数」で掲げる当センターの目標会員数達成のため、会員、役職員が一体となって会員増強に取り組みます。

また、会員増強に併せて女性の入会促進の拡大も推進していきます。

☆中期計画の策定

将来の社会情勢や高齢者の就業環境等の変化を勘案し、当センターの将来を見据えた効果的な事業展開と事業運営を図るため、今後の経営方針を定めた「第2次中期計画」（令和3年度から令和7年度）を策定します。

☆就業機会の開拓と職群班体制の確立

請負契約と派遣契約それぞれの適性に応じた就業開拓を積極的に推進していきます。一人でも多くの会員が就業できるよう、ワークシェアリングを推進するとともに、就業相談をもとに未就業会員の就業を促進します。

また、会員が持ち合わせた豊かな技能や経験を活かすため、会員データベースを参考にした職群班編成を充実させ、就業機会の拡大と就業率の向上に努めます。

☆広報・ホームページの充実

広報紙「つどいの樹」とホームページは、会員に所沢シルバーの現状や活動方針を伝える、極めて重要な手段です。会員の皆様が「おやっ」と手に取りたくなる広報紙、「アクセスしてみようかな」と興味を持っていただけるホームページを提供できるよう努めます。

また、行政や企業・団体、市民の皆様を意識した紙面づくりにも取り組みます。

☆地区活動と地域連携

センターには、市の行政区と同じ11の地区組織があり、地区活動委員会の役割として効果的な活動を行います。

会員への情報伝達、会員相互の懇親、会員増強・就業機会開拓の意識向上、公民館活動や自治会活動に積極的な参画交流など、地域との連携を図りながら活発な地区活動を展開します。

☆研修・講習の充実

発注者の様々な就業依頼に応えるため、職群班ごとにマニュアルの作成や研修、新入会員を対象に就業等に対する心構え研修等を行い、会員の資質向上に努めます。

また、会員の高齢化が進んでいることから、心身の活力の低下を予防するため、フレイル予防教室を展開し、サポーターの増強や会員への周知を図ります。

☆市から受託している指定管理業務

令和元年度から5年間の指定管理業務を受託した「老人憩の家」4荘については、引き続き利用者のニーズに応えられるサービスを企画し提供します。また、安心・安全に利用していただけるよう親切丁寧な対応を心がけ、高齢者が気軽に利用いただけるよう管理運営に努めます。

☆独自事業

地域に根付いてきた営農・製麺事業、また会員の手作りによる手芸作品、各地区で開催されるイベント等に積極的に参加し、就業機会の拡大も含め事業を展開します。

☆その他

会員の親睦団体である悠和会は、会員同士の横のつながりに、なくてはならない団体です。

また、みまもりネットワークを推進する一員として会員活動で気づいた地域の情報は、地域の包括支援センターに報告すると同時に地域の自治会組織とも連携を図っていきます。

※令和2年度の事業実施にあたり、新型コロナウイルス感染症の拡大がいつ収束するかわからない中、事業計画の変更も考慮しながら慎重に進めてまいりますので、会員皆様のご理解ご協力をお願い致します。